

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 1

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	02	01
	細事業名	社会教育委員設置事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市が行う社会教育行政全般について、調査及び審議を行い市民の声を反映した社会教育の推進を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 社会教育の現状と課題について協議するとともに、教育委員会からの諮問に応じて、答申のための調査研究及び意見交換を行ない、中間報告書を提出した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	1	552	国庫支出金		
	9	148	府支出金		
	11	12	起債		
	14	13	分担金・負担金		
	19	65	その他		
			一般財源		790
事業費合計		790	合計		790

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">課題が多いなかで、協議できる会議の回数に限られているため、方向性を見出すまでの十分な検討ができていない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	課題が多いなかで、協議できる会議の回数に限られているため、方向性を見出すまでの十分な検討ができていない。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)	
	○ 進捗している(できている)	理由			課題が多いなかで、協議できる会議の回数に限られているため、方向性を見出すまでの十分な検討ができていない。		
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
× 遅れている(できていない)							
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">会議の回数及び研修機会の確保は必要最小限であり、削減の余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	会議の回数及び研修機会の確保は必要最小限であり、削減の余地はなかった。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった		
○ 削減の余地がなかった	理由			会議の回数及び研修機会の確保は必要最小限であり、削減の余地はなかった。			
▲ 少し削減の余地があった							
× 削減の余地があった							

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針	3 生涯学習推進体制の整備				
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">社会教育法第15条の規定に基づき設置するものであり、市民の意向を反映した社会教育行政を進めるために必要である。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	社会教育法第15条の規定に基づき設置するものであり、市民の意向を反映した社会教育行政を進めるために必要である。	B 内容の見直し	C 統廃合・休止・終了	
	A 現状維持	理由			社会教育法第15条の規定に基づき設置するものであり、市民の意向を反映した社会教育行政を進めるために必要である。		
	B 内容の見直し						
C 統廃合・休止・終了							
事業規模の方向性							
<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市民のニーズにあった社会教育を推進するため、引き続き社会教育委員を設置し、協議ができる会議の回数を拡大する。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	市民のニーズにあった社会教育を推進するため、引き続き社会教育委員を設置し、協議ができる会議の回数を拡大する。	B 現状維持	C 事業縮小		
A 事業拡大	理由			市民のニーズにあった社会教育を推進するため、引き続き社会教育委員を設置し、協議ができる会議の回数を拡大する。			
B 現状維持							
C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 2

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	03	01
細事業名	社会教育指導員設置事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 社会教育の推進体制を整備するため、社会教育課及び各地域公民館に社会教育指導員を設置し、事業を積極的に展開することにより、社会教育活動の充実を図る。 社会教育の推進体制を整備するため、社会教育課及び各地域公民館に社会教育指導員を設置し、事業を積極的に展開することにより、社会教育活動の充実を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 社会教育事業に対する住民ニーズの多様化に対応するため、専門的な技能を有する社会教育指導員を社会教育課へ1名及び各地域公民館へ8名配置し、各種事業の企画立案、運営、社会教育団体に対する指導助言など積極的に行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 京丹後市文化協会の設立及び支部体制(6支部)の確立 市内青少年育成団体の運営(6団体)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	1	18,981	国庫支出金		
	4	2,690	府支出金		
	9	556	起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		22,227
事業費合計		22,227	合計		22,227

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">社会教育事業の企画立案及び効果的な運営と社会教育団体の育成を図ることができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	社会教育事業の企画立案及び効果的な運営と社会教育団体の育成を図ることができた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	社会教育事業の企画立案及び効果的な運営と社会教育団体の育成を図ることができた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">必要最小限の配置であり、削減の余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	必要最小限の配置であり、削減の余地はなかった。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	必要最小限の配置であり、削減の余地はなかった。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">各種社会教育事業の効果的な実施と社会教育団体の育成・支援を行なう。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	各種社会教育事業の効果的な実施と社会教育団体の育成・支援を行なう。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由	各種社会教育事業の効果的な実施と社会教育団体の育成・支援を行なう。			
B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">住民のニーズに応える社会教育を推進するため、引き続き10名の社会教育指導員を設置する。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	住民のニーズに応える社会教育を推進するため、引き続き10名の社会教育指導員を設置する。	B 現状維持
A 事業拡大	理由	住民のニーズに応える社会教育を推進するため、引き続き10名の社会教育指導員を設置する。			
B 現状維持					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 13

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	01	01
細事業名	峰山地域公民館管理事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市		
	計画項目 (施策)	④ 社会教育・スポーツの充実		
	施策方針	1 社会教育体制の確立		
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	生涯学習都市の実現のため、その拠点となる施設の維持管理を行なう。	平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	峰山地域公民館の施設・設備の維持管理及び日常の管理業務に係る事務環境を維持する。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	年間利用者数 2,492件 48,637人

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	×	理由 昭和55年建設以来、各箇所の修繕が必要となっているが、予算が不足しているため。
	○	理由 節電、節水、反故紙の利用等、可能な限りの経費節減に努めた。
	×	理由 節電、節水、反故紙の利用等、可能な限りの経費節減に努めた。
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○	理由 節電、節水、反故紙の利用等、可能な限りの経費節減に努めた。	

改善	事業内容の方向性	
	A	理由 耐震性の問題も含め、市民に安全、快適なサービスの提供するため
	B	理由 耐震性の問題も含め、市民に安全、快適なサービスの提供するため
	C	理由 耐震性の問題も含め、市民に安全、快適なサービスの提供するため
	事業規模の方向性	
	A	理由 耐震性の問題も含め、市民に安全、快適なサービスの提供するため

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	3,430	国庫支出金		
	12	179	府支出金		
	13	3,830	起債		
	14	15	分担金・負担金		
	15	53	その他	使用料	645
	18	60		上下水道料金負担金	181
	19	2			
			一般財源		6,743
事業費合計		7,569	合計		7,569

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 14

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	01	02
	細事業名	大宮地域公民館管理事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市		
	計画項目 (施策)	④ 社会教育・スポーツの充実		
	施策方針	1 社会教育体制の確立		
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	生涯学習都市の実現のため、その拠点となる施設の維持管理を行なう。	平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	大宮地域公民館の施設・設備の維持管理及び日常の管理業務に係る事務環境を維持する。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	事務に支障をきたさない程度の事務環境を維持することができた。

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 事務に支障をきたさない程度の事務環境を維持することができた。
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	○ × 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 適正な日常の管理業務に係る事務環境を維持するため。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
事業規模の方向性		
B	A 事業拡大	理由 適正な日常の管理業務に係る事務環境を維持するため。
	B 現状維持	
	C 事業縮小	

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	56	国庫支出金		
	14	206	府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		262
事業費合計		262	合計		262

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 15

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称 一般会計	10	05	02	01	03
細事業名	網野地域公民館管理事業					

担当部署 教育委員会事務局
担当課等 社会教育課

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市		
	計画項目 (施策)	④ 社会教育・スポーツの充実		
	施策方針	1 社会教育体制の確立		
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	生涯学習都市の実現のため、その拠点となる施設の維持管理を行なう。	平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	網野地域公民館の施設・設備の維持管理及び日常の管理業務に係る事務環境を維持する。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	良好な事務環境を維持できた。

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○	進捗している(できている)
	○	▲ 少し遅れている(少しできていない)
	○	× 遅れている(できていない)
	理由	良好な事務環境を維持できた。
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○	削減の余地がなかった	
○	▲ 少し削減の余地があった	
○	× 削減の余地があった	
	理由	反故紙の利用等、可能な限りの経費節減に努めた。

改善	事業内容の方向性		
	A	A 現状維持	
	A	B 内容の見直し	
	A	C 統廃合・休止・終了	
		理由	適正な日常の管理業務に係る事務環境を維持するため。
	事業規模の方向性		
B	A 事業拡大		
B	B 現状維持		
B	C 事業縮小		
	理由	適正な日常の管理業務に係る事務環境を維持するため。	

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	154	国庫支出金		
	12	41	府支出金		
	14	191	起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		386
事業費合計		386	合計		386

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 16

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	01	04
細事業名	丹後地域公民館管理事業					

担当部署	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市		
	計画項目 (施策)	④ 社会教育・スポーツの充実		
	施策方針	1 社会教育体制の確立		
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	生涯学習都市の実現のため、その拠点となる施設の維持管理を行なう。	平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	丹後地域公民館の施設・設備の維持管理及び日常の管理業務に係る事務環境を維持する。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	年間利用者数 794件 14,475人

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	理由	予算の範囲内で可能な限りの修繕したが、まだ修繕必要な箇所がある。
	理由	節電、節水、反故紙の利用等、可能な限りの経費節減に努めた。
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	

改善	事業内容の方向性	
	A	現状維持
	B	内容の見直し
	C	統廃合・休止・終了
事業規模の方向性		理由 修繕などにより、施設の維持管理に努め、市民の利便性の向上を図る。
B	事業拡大	理由 老朽化等、問題の指摘されている地下重油タンクの整備など、より安全な管理をめざし維持を図る必要がある。
B	現状維持	
C	事業縮小	

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	3,591	国庫支出金		
	12	265	府支出金		
	13	3,013	起債		
	14	193	分担金・負担金		
			その他	利用料	74
				コピー機使用料	14
				公有財産使用料	36
			一般財源		6,938
事業費合計		7,062	合計		7,062

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 17

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称 一般会計	款 10	項 05	目 02	事業 01	細事業 05
細事業名	弥栄地域公民館管理事業					

担当部局 教育委員会事務局
担当課等 社会教育課

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市		
	計画項目 (施策)	④ 社会教育・スポーツの充実		
	施策方針	1 社会教育体制の確立		
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	生涯学習都市の実現のため、その拠点となる施設の維持管理を行なう。	平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	弥栄地域公民館の施設・設備の維持管理及び日常の管理業務に係る事務環境を維持する。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	年間利用者数 1,491件 38,269人

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	理由	予算の範囲内で可能な限りの修繕したが、まだ修繕必要な箇所がある。
	理由	節電、節水、反故紙の利用等、可能な限りの経費節減に努めた。
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	

改善	事業内容の方向性	
	理由	耐震性の問題も含め、市民に安全、快適なサービスの提供するため
	事業規模の方向性	
	理由	耐震性の問題も含め、市民に安全、快適なサービスの提供するため

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	1,893	国庫支出金		
	12	147	府支出金		
	13	224	起債		
	14	236	分担金・負担金		
			その他	使用料	103
			一般財源		2,397
事業費合計		2,500	合計		2,500

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 18

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	01	06
細事業名	久美浜地域公民館管理事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	I 交流経済都市		
	計画項目 (施策)	④ 社会教育・スポーツの充実		
	施策方針	1 社会教育体制の確立		
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	生涯学習都市の実現のため、その拠点となる施設の維持管理を行なう。	平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	久美浜地域公民館の施設・設備の維持管理及び日常の管理業務に係る事務環境を維持する。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○	進捗している(できている)
	○	▲ 少し遅れている(少しできていない)
	○	× 遅れている(できていない)
	理由	業務遂行に必要な事務環境を整えることが出来た。
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○	削減の余地がなかった	
○	▲ 少し削減の余地があった	
○	× 削減の余地があった	
	理由	節電、節水、反故紙の利用等、可能な限りの経費節減に努めた。

改善	事業内容の方向性		
	A	A 現状維持	
	A	B 内容の見直し	
	A	C 統廃合・休止・終了	
		理由	適正な日常の管理業務に係る事務環境を維持するため。
	事業規模の方向性		
B	A 事業拡大		
B	B 現状維持		
B	C 事業縮小		
	理由	適正な日常の管理業務に係る事務環境を維持するため。	

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	957	財源内訳	国庫支出金	
	12	217		府支出金	
	13	414		起債	
	14	112		分担金・負担金	
	15	14		その他	
				一般財源	1,714
事業費合計		1,714	合計		1,714

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			財源内訳	国庫支出金	
				府支出金	
				起債	
				分担金・負担金	
				その他	
				一般財源	
事業費合計			合計		



平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 19

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	03	01
細事業名	峰山地域公民館運営事業					

担当部署	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 生涯学習都市の実現のため、地域の生涯学習活動の拠点として、地域の課題に即した各種事業を実施するとともに、地区公民館の支援及び各種社会教育団体・地域指導者の育成を図る。 生涯学習サークル(公民館グループ)の活動支援 地区公民館との連携促進 受益者負担という概念の普及
	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) ○青少年教育事業…キッズ・エアロピクス(37回・延527人) 夏・春休み子ども体験教室(16回・延423人) ○成人教育事業…ハープガーデン教室(16回・延540人)、パン・お菓子教室(16回・延277人) ○高齢者教育事業…高齢者大学(10教室 128回・延2,191人) ○文化芸術事業…みねやま写真展(出展者18人)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 公民館講座を端緒とした自主運営サークルの誕生 (10グループ)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	1	1,998	国庫支出金		
	4	286	府支出金		
	8	832	起債		
	9	41	分担金・負担金		
	11	428	その他	社会教育事業参加費	371
	12	1			
	13	70			
事業費合計		3,656	一般財源		3,285
			合計		3,656

CHECK		
評価	目標達成度…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 市民との協働の成果である自主運営サークルの誕生
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	○ × 遅れている(できていない)	
効率性…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 可及的に市民(学習者)の理解と協力を得たため	
○ ▲ 少し削減の余地があった		
○ × 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 生涯学習社会の実現のため
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由 生涯学習社会の実現のため
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 20

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	04	01
細事業名	大宮地域公民館運営事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 生涯学習都市の実現のため、地域の生涯学習活動の拠点として、地域の課題に即した各種事業を実施するとともに、地区公民館の支援及び各種社会教育団体・地域指導者の育成を図る。 生涯学習サークル(公民館グループ)の活動支援 地区公民館との連携促進 受益者負担という概念の普及
	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) ○青少年教育事業…わんぱくアウトドア(2回・計60人)、チャレンジウォーク(1回・16人)、夏の自然体験教室(2回・延47人) ○成人教育事業…フレッシュ歩こう会(1回・34人)、成人講座(3講座・延180人) ○女性教育事業…女性いきいき教室(3講座・延127人) ○高齢者教育事業…高齢者いきいき教室(5講座・延219人) ○家庭教育事業…親子ふれあい教室(3回・延98人)、教育講演会(1回・211人)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 限られた予算、人員の中で、他の公民館と連携協力し、効率的に事業を実施することができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	1	1,998	国庫支出金		
	4	286	府支出金		
	8	126	起債		
	9	28	分担金・負担金		
	11	92	その他	社会教育事業等参加	37
	12	21			
	13	37			
	14	93	一般財源		2,644
事業費合計		2,681	合計		2,681

CHECK						
評価	目標達成度…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">予定していた事業はおおむね実施することができた。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	予定していた事業はおおむね実施することができた。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	○ × 遅れている(できていない)
○ 進捗している(できている)	理由	予定していた事業はおおむね実施することができた。				
○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)						
○ × 遅れている(できていない)						
	効率性…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">限られた予算の中で、参加者負担や工夫により、最小限の費用で最大限の効果が得られるよう勤めた。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	限られた予算の中で、参加者負担や工夫により、最小限の費用で最大限の効果が得られるよう勤めた。	○ ▲ 少し削減の余地があった	○ × 削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	限られた予算の中で、参加者負担や工夫により、最小限の費用で最大限の効果が得られるよう勤めた。				
○ ▲ 少し削減の余地があった						
○ × 削減の余地があった						

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION						
改善	事業内容の方向性					
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">その時々地域課題や地域のニーズに応じた事業内容とすることが必要である。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	その時々地域課題や地域のニーズに応じた事業内容とすることが必要である。	B 内容の見直し	C 統廃合・休止・終了
A 現状維持	理由	その時々地域課題や地域のニーズに応じた事業内容とすることが必要である。				
B 内容の見直し						
C 統廃合・休止・終了						
	事業規模の方向性					
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">地域課題やニーズに応じた事業実施のための見直しは必要であるが、地域課題やニーズに応じた事業を展開していくためには、事業拡大が必要である。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	地域課題やニーズに応じた事業実施のための見直しは必要であるが、地域課題やニーズに応じた事業を展開していくためには、事業拡大が必要である。	B 現状維持	C 事業縮小
A 事業拡大	理由	地域課題やニーズに応じた事業実施のための見直しは必要であるが、地域課題やニーズに応じた事業を展開していくためには、事業拡大が必要である。				
B 現状維持						
C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 21

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	05	01
細事業名	網野地域公民館運営事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 生涯学習都市の実現のため、地域の生涯学習活動の拠点として、地域の課題に即した各種事業を実施するとともに、地区公民館の支援及び各種社会教育団体・地域指導者の育成を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 公民館事業を通じて、市民がさまざまな知識や教養を身に付け、豊かな人間性と地域文化を育むとともに、市民の交流を促進し、学びあい、支えあう機運の醸成を図り、もって生涯学習のまちづくりを推進する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) ○青少年教育事業…ウイークエンド事業「レッツゴーユタッコ仲間」(12講座・延862人) ○成人教育事業 …あみのウオークデー(105人)、琴引浜自然教室(16人) ○高齢者教育事業…高齢者大学(一般講座10回・延1,403人、趣味の講座11講座・242人) ○文化芸術事業 …網野町ふれあいコンサート(約500人)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 限られた財源、職員の中で、市民と協働しながら、幅広い事業に取り組み、多くの参加者を得ることができ、成果をあげることができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	1	1,998	国庫支出金		
	4	286	府支出金		
	8	187	起債		
	9	18	分担金・負担金		
	11	129	その他	社会教育事業参加費	74
	12	19			
	13	197			
	14	336	一般財源		3,096
事業費合計		3,170	合計		3,170

CHECK					
評価	目標達成度…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">予定していた事業をおおむね実施することができたため。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	予定していた事業をおおむね実施することができたため。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	予定していた事業をおおむね実施することができたため。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">無駄な経費の削減に努めるとともに、最大の効果が得られるよう配慮した。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	無駄な経費の削減に努めるとともに、最大の効果が得られるよう配慮した。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	無駄な経費の削減に努めるとともに、最大の効果が得られるよう配慮した。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">その時々々の学習課題に対応した事業展開が必要と考える。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	その時々々の学習課題に対応した事業展開が必要と考える。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由	その時々々の学習課題に対応した事業展開が必要と考える。			
B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">職員数から現状以上の業務量をこなすことは困難と思われる。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	職員数から現状以上の業務量をこなすことは困難と思われる。	B 現状維持
A 事業拡大	理由	職員数から現状以上の業務量をこなすことは困難と思われる。			
B 現状維持					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号  
社会 22

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	06	01
細事業名	丹後地域公民館運営事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 生涯学習都市の実現のため、地域の生涯学習活動の拠点として、地域の課題に即した各種事業を実施するとともに、地区公民館の支援及び各種社会教育団体・地域指導者の育成を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 市民が学習を通じて人格の形成を図るとともに、豊かな人間性の醸成をはかる。地区公民館との連携促進をはかる。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) ○青少年教育事業…サバイバルキャンプ(2泊3日・30人)、少年少女意見発表会(1回・250人) ○成人教育事業…歩こう会(2回・延31人)、絵手紙講座(5回・46人) ○家庭教育事業…親子陶芸教室(2回・延36人) ○芸術文化事業…子ども作品展(通年)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 青少年教育、成人教育、女性教育、家庭教育、芸術文化教育などの公民館事業を通じて、市民のサークル活動の活性化が図られた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	1	1,998	国庫支出金		
	4	287	府支出金		
	8	48	起債		
	9	86	分担金・負担金		
	11	70	その他	社会教育事業参加費	21
	12	1			
	13	25			
事業費合計		2,515	一般財源		2,494
			合計		2,515

CHECK					
評価	目標達成度…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">予定していた事業をおおむね実施することができたため。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	予定していた事業をおおむね実施することができたため。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	予定していた事業をおおむね実施することができたため。			
○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)					
○ × 遅れている(できていない)					
改善	効率性…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">可能な限り経費節減に努めた。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	可能な限り経費節減に努めた。	○ ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	可能な限り経費節減に努めた。			
○ ▲ 少し削減の余地があった					
○ × 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
事業費合計			一般財源		
			合計		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 23

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	07	01
細事業名	弥栄地域公民館運営事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 生涯学習都市の実現のため、地域の生涯学習活動の拠点として、地域の課題に即した各種事業を実施するとともに、地区公民館の支援及び各種社会教育団体・地域指導者の育成を図る。 生涯学習サークル(公民館グループ)の活動支援 地区公民館との連携促進 受益者負担という概念の普及
	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) ○青少年事業…やさか探検隊(3回・延68人)、スターウォッチング(1回・74人) ○成人教育事業…囲碁入門講座(10回・延117人)、詩吟講座(5回・延69人)、剪定講座(4回・延69人) ○女性教育事業…地区女性講座(4回・延39人)、布花講座(4回・延38人)、手作りおやつ講座(4回・延44人)、お正月飾り講座(2回・29人) ○家庭教育事業…親子料理教室(1回・21人)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 青少年教育、成人教育、女性教育、家庭教育、芸術文化教育などの公民館事業を通じて、市民のサークル活動の活性化が図られた。 公民館講座を端緒とした自主運営サークルの誕生(布花サークル)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	1	1,998	国庫支出金		
	4	286	府支出金		
	8	144	起債		
	9	39	分担金・負担金		
	11	27	その他	社会教育事業参加費	38
	12	23			
	13	28			
	14	80	一般財源		2,587
事業費合計		2,625	合計		2,625

CHECK						
評価	目標達成度…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市民との協働の成果である自主運営サークルの誕生</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	市民との協働の成果である自主運営サークルの誕生	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			市民との協働の成果である自主運営サークルの誕生	
	▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">可及的に市民(学習者)の理解と協力を得たため</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	可及的に市民(学習者)の理解と協力を得たため	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由			可及的に市民(学習者)の理解と協力を得たため		
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
	事業費合計			合計	

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	生涯学習社会の実現のため
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由	生涯学習社会の実現のため
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 24

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	08	01
細事業名	久美浜地域公民館運営事業					

担当部署	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 生涯学習都市の実現のため、地域の生涯学習活動の拠点として、地域の課題に即した各種事業を実施するとともに、地区公民館の支援及び各種社会教育団体・地域指導者の育成を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 市民の身近な場での学習及び交流の機会を継続する。地区公民館との連携を強化し、地域の公民館活動の活性化を図る。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) ○青少年教育事業…ふるさと再発見未来塾(3回・延べ39人)、子どもサバイバルキャンプ(2泊3日・30人)、子どもの主張発表大会(1回・150人)、青少年育成市民のつどい(1回・90人) ○成人教育事業…からだにいいことしま専科(3回・16人) ○女性教育事業…絵手紙教室(5回・延100人) ○高齢者教育事業…ゆったりバランス体操教室(5回・延156人) ○家庭教育事業…親子ふるさと教室(4回・延54人)、子育て講演会(1回・112人)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 地域住民に対して、学習及び交流の機会を提供することにより、教養の向上、健康の増進、生きがいづくり、住民間の交流を活発にすることが出来た。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	1	1,998	国庫支出金		
	4	286	府支出金		
	8	152	起債		
	9	56	分担金・負担金		
	11	62	その他		
	12	32			
	13	20			
	14	183			
事業費合計		2,789	一般財源		2,789
			合計		2,789

CHECK						
評価	目標達成度…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">計画した事業を概ね実施することが出来た。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	計画した事業を概ね実施することが出来た。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
○ 進捗している(できている)	理由	計画した事業を概ね実施することが出来た。				
▲ 少し遅れている(少しできていない)						
× 遅れている(できていない)						
	効率性…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">事業内容によっては、参加者にも一部費用の負担をしていただくなど、最小限の経費で事業を行うよう努めた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	事業内容によっては、参加者にも一部費用の負担をしていただくなど、最小限の経費で事業を行うよう努めた。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	事業内容によっては、参加者にも一部費用の負担をしていただくなど、最小限の経費で事業を行うよう努めた。				
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION						
改善	事業内容の方向性					
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">その時々学習課題、住民のニーズに対応した事業内容を実施していく必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	その時々学習課題、住民のニーズに対応した事業内容を実施していく必要がある。	B 内容の見直し	C 統廃合・休止・終了
A 現状維持	理由	その時々学習課題、住民のニーズに対応した事業内容を実施していく必要がある。				
B 内容の見直し						
C 統廃合・休止・終了						
	事業規模の方向性					
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">より多くの住民に生涯学習の機会を保障していくため。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	より多くの住民に生涯学習の機会を保障していくため。	B 現状維持	C 事業縮小
A 事業拡大	理由	より多くの住民に生涯学習の機会を保障していくため。				
B 現状維持						
C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 25

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	02	01
細事業名	地区公民館管理運営事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 地区公民館を設置し、市民の身近な場での地域課題等の学習機会及び市民交流の場を提供する。また、市有の地区公民館施設の維持管理する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 公民館事業を通じて、市民がさまざまな知識や教養を身に付け、豊かな人間性と地域文化を育むとともに、市民の交流を促進し、学びあい、支えあう機運の醸成を図り、もって生涯学習のまちづくりを推進する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 各地区公民館が、対象地域の市民を対象に、地域課題に対応した学習機会の提供及び市民交流事業を実施した。また、市有の地区公民館施設を維持管理した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 地域の課題に即した学習活動等、特色ある地区公民館活動が展開できた。地域住民の交流が促進され、地域のきずなが深まった。市有の地区公民館を維持管理した。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	1	18,040	国庫支出金		
	8	1,056	府支出金		
	9	109	起債		
	11	1,592	分担金・負担金	網野、新庄地区公民館	74
	12	117	その他		
	13	776			
	14	4			
	18,19	21,882	一般財源		43,502
事業費合計		43,576	合計		43,576

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">計画されていた事業がおおむね実施されていると認められるため。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	計画されていた事業がおおむね実施されていると認められるため。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	計画されていた事業がおおむね実施されていると認められるため。			
○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)					
○ × 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">限られた財源を有効に活用して事業が実施されたものと認められるため。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	限られた財源を有効に活用して事業が実施されたものと認められるため。	○ ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	限られた財源を有効に活用して事業が実施されたものと認められるため。			
○ ▲ 少し削減の余地があった					
○ × 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">身近な社会教育機関として、今後とも必要である。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	身近な社会教育機関として、今後とも必要である。	B	B 内容の見直し	C
A	A 現状維持	理由	身近な社会教育機関として、今後とも必要である。					
B	B 内容の見直し							
C	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">身近な社会教育機関として、今後とも必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	身近な社会教育機関として、今後とも必要である。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	身近な社会教育機関として、今後とも必要である。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 27

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	05	01	01
細事業名	峰山いさなご施設管理運営事業					

担当部署	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

PLAN				
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 3 生涯学習推進体制の整備			
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	林業経営の安定と農山村地域の振興を図る(峰山林業総合センター) 工芸品づくりによる高齢者の介護予防、生きがいの推進及び文化・伝承活動等の実施に対する支援を図る(いさなご工房) 市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、生活文化の向上に資するため(いさなごコート)。			
事業の目的	<table border="1"> <tr> <td>平成26年度事業の効果目標</td> <td>(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)</td> <td>市民が利用しやすいよう、良好な施設環境の維持をする。</td> </tr> </table>	平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)	市民が利用しやすいよう、良好な施設環境の維持をする。
平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)	市民が利用しやすいよう、良好な施設環境の維持をする。		

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 施設管理及び木工・陶芸の指導・定期講座の実施。いさなごコート(屋根付ゲートボール場)・会議室の貸し出しを行い、H20よりは減少したが多くの利用があった。H20利用者数16,244人・H21利用者数15,385人
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 良好な施設環境の維持ができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	01	1,998	国庫支出金		
	04	264	府支出金		
	11	2,152	起債		
	12	191	分担金・負担金		
	13	3,070	その他	使用料	1,286
	14	15		諸収入	195
			一般財源		6,209
事業費合計		7,690	合計		7,690

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">生涯学習の拠点施設として役割を果たしている。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	生涯学習の拠点施設として役割を果たしている。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	生涯学習の拠点施設として役割を果たしている。			
○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)					
○ × 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">人件費をはじめ、木工・陶芸の材料費、光熱水費など最大限の節約を行っている。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	人件費をはじめ、木工・陶芸の材料費、光熱水費など最大限の節約を行っている。	○ ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	人件費をはじめ、木工・陶芸の材料費、光熱水費など最大限の節約を行っている。			
○ ▲ 少し削減の余地があった					
○ × 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">指定管理者制度導入へ移行</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	指定管理者制度導入へ移行	B 内容の見直し
A 現状維持	理由	指定管理者制度導入へ移行			
B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">指定管理者制度導入へ移行</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	指定管理者制度導入へ移行	B 現状維持
A 事業拡大	理由	指定管理者制度導入へ移行			
B 現状維持					
C 事業縮小					



平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号  
社会 28

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	05	02	01
	細事業名	マスターズビレッジ管理運営事業				

担当部署	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 活力ある長寿社会の実現に向けて、生きがいづくり、ふれあい交流づくり及び健康づくりの場を提供し、生涯学習の推進に寄与する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 市民が利用しやすいよう、良好な施設環境の維持をする。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 陶芸、染色の指導。施設管理及び展示室・会議室の貸し出し。ふれあいスポーツ広場の貸し出しを行い、H20より減少したが多くの利用があった。マスタービレッジ法面整形工事を実施した。H20利用者数9,281人・H21利用者数8,426人
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 良好な施設環境の維持ができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	3,269	国庫支出金		
	12	136	府支出金		
	13	13,190	起債		
	14	27	分担金・負担金		
	15	1,065	その他	使用料	1,936
	16	7		諸収入	92
	22	130			
事業費合計		17,824	一般財源		15,796
			合計		17,824

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	施設利用者は伸び悩みがあるものの、生涯学習の拠点施設として役割を果たしている。
	○ 進捗している(できている)		
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	○ × 遅れている(できていない)		
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	陶芸・染色の材料費など最大限の節約を行っている。
	○ 削減の余地がなかった		
	○ ▲ 少し削減の余地があった		
	○ × 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持		
	B B 内容の見直し	理由	指定管理者制度導入へ移行
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大		
B B 現状維持	理由	指定管理者制度導入へ移行	
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号  
社会 29

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	05	03	01
細事業名	たちばな会館管理運営事業					

担当部署	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 木津地区の生涯学習、コミュニティ活動の拠点であるたちばな会館の維持管理 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 良好な施設環境を維持する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) たちばな会館の維持管理 利用実績 【会議室等】385回 延4,812人(平成20年度:320回 延4,725人) 【図書室】開館247日 利用者366人 貸出冊数2,172冊 (平成20年度:開館246日 利用者372人 貸出冊数2,143冊)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 良好な施設環境を維持できた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	568	国庫支出金		
	12	79	府支出金		
	13	795	起債		
	14	7	分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		1,449
事業費合計		1,449	合計		1,449

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか		
	○ 進捗している(できている)	理由	良好な施設環境が維持できた。
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	○ × 遅れている(できていない)		
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
○ 削減の余地がなかった	理由	必要最小限の経費で良好な施設環境が維持できた。	
○ ▲ 少し削減の余地があった			
○ × 削減の余地があった			

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION				
改善	事業内容の方向性			
	A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由	良好な施設環境が維持するため。
	事業規模の方向性			
	B	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由	良好な施設環境が維持するため。

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 30

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	05	04	01
細事業名	網野教育会館管理運営事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 人権学習をはじめとする社会教育施設として、また、地域のコミュニティ活動の拠点施設である網野教育会館の施設の維持管理 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 良好な施設環境を維持する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 網野教育会館の維持管理。平成21年度から地元郷区へ業務委託し、管理人が原則平日の午前中に勤務。また、屋上防水工事を実施した。 【利用実績】 474回 延5,874人(平成20年度:416回 延6,334人)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 良好な施設環境を維持できた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		財源内訳	歳入		
	節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)
	11	495	財源内訳	国庫支出金		
	12	68		府支出金		
	13	627		起債		
	14	36		分担金・負担金		
	15	5,123		その他		
	18	128				
				一般財源		6,477
事業費合計		6,477		合計		6,477

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 良好な施設環境を維持できた。
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	○ × 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
改善	○ 削減の余地がなかった	理由 必要最小限の経費で良好な施設環境を維持できた。
	○ ▲ 少し削減の余地があった	
	○ × 削減の余地があった	

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針						
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)					
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)					
予算科目	歳出		財源内訳	歳入		
	節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)
			財源内訳	国庫支出金		
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		
事業費合計				合計		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号  
社会 31

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称 一般会計	款 10	項 06	目 01	事業 01	細事業 01
細事業名	体育指導委員活動事業					

担当部局 教育委員会事務局
担当課等 社会教育課

<b>PLAN</b>	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	地域住民へのスポーツの実技指導及び助言、また地域でのスポーツを通じた様々な活動のコーディネーター役となれるよう体育指導委員の資質向上を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 体育指導委員の資質の更なる向上 スポーツ実施率を50%に近づける

<b>DO</b>	
平成21年度事業の実績 (何を対象に、何をしたか)	普及推進種目(ファミリーバドミントン、きばれえ、ペタンク)の体育指導委員向け講習会を行った。(計6回) 京都府体育指導委員研究大会、近畿体育指導委員研究協議会、京都府体育指導委員協議会地区別事業へ参加し資質向上に努めた。住民向けのニュースポーツ講習会、大会を開催した。
平成21年度事業の効果 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	体育指導委員対象の研修会には、延179人の参加

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	1	2,838	財源内訳	国庫支出金	
	9	728		府支出金	
	11	23		起債	
	12	94		分担金・負担金	
	13	52		その他	
	14	6			
	19	98			
事業費合計		3,839	合計		3,839

<b>CHECK</b>		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか ○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) × 遅れている(できていない)	理由 各地域で普及推進種目を中心としたニュースポーツの普及を図るため、教室や大会等を開催するとともに、研修等に参加し日々の活動に生かした。
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか ○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった × 削減の余地があった	理由 体育指導委員の資質向上及び円滑な活動を行うために必要な経費である。

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要 (何を対象に、何をするか)					
平成22年度事業の効果目標 (平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)					
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目			財源内訳	国庫支出金	
				府支出金	
				起債	
				分担金・負担金	
				その他	
事業費合計			合計		

<b>ACTION</b>		
改善	事業内容の方向性 A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由 日常的に運動していない人に、いかに習慣的に運動してもらうかが課題であり、そのきっかけ作りは今後ますます教室活動等を充実させ、一人でも多くの人にスポーツのできる機会の場を提供していく必要がある。
	事業規模の方向性 A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由 体育指導委員の人数は、当分の間現状を維持していくのが良いと思われるが、市内全域で各種スポーツ教室等を開催していく上で、体育指導委員の指導力の更なる向上を図る。

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号  
社会 32

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	01	03	01
細事業名		社会体育団体育成事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

<b>PLAN</b>	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	市内の各種スポーツ団体へ補助金を交付することにより、市民へのスポーツの普及と振興を図るとともにスポーツ団体を育成する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 支援団体の安定的な運営を確保する

<b>DO</b>	
平成21年度事業の実績 (何を対象に、何をしたか)	市のスポーツ・体育振興の中心組織である京丹后市体育協会に支援を行うとともに、15,235,000円の補助金を交付した。網野ジュニアスポーツ協会についてもジュニアの育成及び青少年健全育成等の観点から支援を行うとともに、1,342,000円の補助金を交付した。また、スポーツ振興及び地域住民の健康づくり等を目的に平成19年度に発足した網野スポーツクラブへの補助を行った。
平成21年度事業の効果 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	京丹后市体育協会では6つの支部が運営する事業のほか、市全域を対象とした競技大会が実施できた。網野ジュニアスポーツ協会では、22団体が活動できた。網野スポーツクラブは、21教室が運営された。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	16,982	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		16,982
事業費合計		16,982	合計		16,982

<b>CHECK</b>					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市内の各スポーツ団体の育成、各種教室及び大会の自主運営など、市民がスポーツに親しむ機会を提供するなど、市のスポーツ振興を担い、幅広い年代層にスポーツ活動の普及に寄与している。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	市内の各スポーツ団体の育成、各種教室及び大会の自主運営など、市民がスポーツに親しむ機会を提供するなど、市のスポーツ振興を担い、幅広い年代層にスポーツ活動の普及に寄与している。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	市内の各スポーツ団体の育成、各種教室及び大会の自主運営など、市民がスポーツに親しむ機会を提供するなど、市のスポーツ振興を担い、幅広い年代層にスポーツ活動の普及に寄与している。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">いずれの支援団体も、自主財源を持っていないため現段階では困難である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	いずれの支援団体も、自主財源を持っていないため現段階では困難である。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	いずれの支援団体も、自主財源を持っていないため現段階では困難である。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要 (何を対象に、何をするか)					
平成22年度事業の効果目標 (平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)					
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

<b>ACTION</b>				
改善	事業内容の方向性			
	A	A 現状維持	理由	地域のスポーツ活動を支える、各種団体への支援は必要である。
	B	B 内容の見直し		
	C	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性			
	B	A 事業拡大	理由	市の財政が厳しい中ではあるが、団体を支援することを通じて、市民がスポーツに親しむ環境を整えることは、重要である。
B	B 現状維持			
C	C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号  
社会 33

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称 一般会計	款 10	項 06	目 01	事業 50	細事業 01
	細事業名	保健体育総務一般経費				

担当部局 教育委員会事務局
担当課等 社会教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	スポーツ振興法に基づき審議会を設置し、市のスポーツ振興に関する事項について調査・審議を行う。
事業の目的	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
事業の目的	19年度に京丹後市スポーツ振興計画を策定したことに伴い、市民の週1回のスポーツ実施率を10年後には50%とすること。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 京丹後市スポーツ振興計画策定のため、スポーツ振興審議会を1回開催し、答申を行った。答申後、振興計画を製本するとともに、市のホームページに掲載した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市のスポーツ振興に関する施策について審議を行い有用な意見、見解等が得られた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	1	40	国庫支出金		
	9	39	府支出金		
	11	35	起債		
	14	2	分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		116
事業費合計		116	合計		116

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか
	<input type="radio"/> 進捗している(できている) <input type="radio"/> ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 審議会を開催し、十分議論ができた。 <input type="radio"/> × 遅れている(できていない)
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか
	<input type="radio"/> 削減の余地がなかった <input type="radio"/> ▲ 少し削減の余地があった 理由 京丹後市スポーツ振興審議会委員の定数の範囲内での経費が必要である。 <input type="radio"/> × 削減の余地があった

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 スポーツ振興法及び京丹後市スポーツ振興審議会条例に基づく機関であるため、現状を維持し、スポーツ振興について経過を把握する
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 スポーツ振興法及び京丹後市スポーツ振興審議会条例に基づく機関であるため、スポーツ振興の動向を確認し、今後、振興計画の改訂等を行う。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号  
社会 34

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	02	01	01
細事業名		京都市民総合体育大会事業				

担当部局
教育委員会事務局
担当課等
社会教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京都市民総合体育大会へ、京丹後市の代表選手を派遣し、府内各地の代表選手と競い合うことにより、競技力の向上を目指す。上位の成績を目指すことで京丹後市の体育振興及び、京丹後市のPRともなる。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 参加選手の増加と、成績の向上
事業の目的	平成26年度事業の効果目標

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 第32回京都市民総合体育大会への選手団の派遣のため、京丹後市体育協会へ160万円の補助金を交付した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 20競技に参加し、総合6位に入賞することができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	9	2	国庫支出金		
	19	1,600	府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		1,602
事業費合計		1,602	合計		1,602

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">各競技で好成績を取めることができ、20年度の8位入賞から6位入賞へと着実に成績を向上させることができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	各競技で好成績を取めることができ、20年度の8位入賞から6位入賞へと着実に成績を向上させることができた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	各競技で好成績を取めることができ、20年度の8位入賞から6位入賞へと着実に成績を向上させることができた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">20年度より、ユニフォーム購入補助をなくし、選手派遣補助のみとなっている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	20年度より、ユニフォーム購入補助をなくし、選手派遣補助のみとなっている。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	20年度より、ユニフォーム購入補助をなくし、選手派遣補助のみとなっている。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	大会に参加し、代表選手が府内におけるスポーツレベルを認識し、京丹後市の競技力向上へつなげるために必要である。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由	22年度より、ゴルフが正式種目となるため、派遣選手の増加が見込まれるため。
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号  
社会 35

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称 一般会計	款 10	項 06	目 02	事業 02	細事業 01
細事業名	市民体育大会事業					

担当部局 教育委員会事務局
担当課等 社会教育課

<b>PLAN</b>	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	京丹後市体育大会を開催することにより、市内のスポーツ活動の振興を行う他、スポーツを通して、市内各地の市民が競技選手として交流することで、京丹後市の活性化を図る。
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	京丹後市体育大会を開催することにより、市内のスポーツ活動の振興を行う他、スポーツを通して、市内各地の市民が競技選手として交流することで、京丹後市の活性化を図る。
平成26年度 事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
事業の継続と競技参加者の増加	

<b>DO</b>	
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 第5回京丹後市総合体育大会の実施のため、京丹後市体育協会へ330万円の補助金を交付した。
平成21年度 事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 17競技、24種目で実施され、2035人の参加者があった。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	3,300	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		3,300
事業費合計		3,300	合計		3,300

<b>CHECK</b>					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">京丹後市のスポーツ事業のうち、メイン行事として定着している。前回に比べ参加者も増加(+82人)した。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	京丹後市のスポーツ事業のうち、メイン行事として定着している。前回に比べ参加者も増加(+82人)した。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	京丹後市のスポーツ事業のうち、メイン行事として定着している。前回に比べ参加者も増加(+82人)した。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">大会運営については、現在でも切り詰めた状態で運営されている。削減の余地はないものとする。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	大会運営については、現在でも切り詰めた状態で運営されている。削減の余地はないものとする。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	大会運営については、現在でも切り詰めた状態で運営されている。削減の余地はないものとする。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度 事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度 事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

<b>ACTION</b>								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">合併以前から通算すれば、55回を数える大会である。京丹後市全域のスポーツ選手が集う総合体育大会であり、今後も継続する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	合併以前から通算すれば、55回を数える大会である。京丹後市全域のスポーツ選手が集う総合体育大会であり、今後も継続する必要がある。	B	B 内容の見直し	C
A	A 現状維持	理由	合併以前から通算すれば、55回を数える大会である。京丹後市全域のスポーツ選手が集う総合体育大会であり、今後も継続する必要がある。					
B	B 内容の見直し							
C	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">京丹後市のスポーツ事業のメインとなる事業である。今後も維持する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	京丹後市のスポーツ事業のメインとなる事業である。今後も維持する必要がある。	B	B 現状維持	C
B	A 事業拡大	理由	京丹後市のスポーツ事業のメインとなる事業である。今後も維持する必要がある。					
B	B 現状維持							
C	C 事業縮小							



平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号  
社会 38

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	02	05	02
細事業名		全国高等学校総合体育大会開催事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

<b>PLAN</b>	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	平成21年度全国高等学校総合体育大会に向けた大会会場・施設の整備、備品等の購入および、大会開催経費の補助を行う。多額の経費がかからない方法で開催に向けて準備を進めるとともに、今後カヌー競技場で行われる各種カヌー大会、ドラゴンカヌー大会など市民の活用につながる事業を進める。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 平成21年度は京都府が高校総体の会場になったが、平成26年度事業はない。

<b>DO</b>	
平成21年度事業の実績 (何を対象に、何をしたか)	京丹後市の久美浜湾カヌーレーシング競技場において、平成21年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会が開催された。
平成21年度事業の効果 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	全国から89の高校、538名の参加があり、見るものすべてに大きな感動を与えてくれた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	168	国庫支出金		
	12	499	府支出金		
	13	147	起債		
	18	333	分担金・負担金		
	19	10,000	その他		
			一般財源		11,147
事業費合計		11,147	合計		11,147

<b>CHECK</b>		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由 平成21年度全国高等学校総合体育大会に向けた大会会場・施設の整備、備品等の購入および、大会開催経費の補助を行うことができた。
	<input type="radio"/> 進捗している(できている) <input checked="" type="radio"/> 少し遅れている(少しできていない) <input type="radio"/> 遅れている(できていない)	
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由 必要不可欠であり、妥当なコストである。
	<input type="radio"/> 削減の余地がなかった <input checked="" type="radio"/> 少し削減の余地があった <input type="radio"/> 削減の余地があった	

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要 (何を対象に、何をするか)					
平成22年度事業の効果目標 (平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)					
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

<b>ACTION</b>		
改善	事業内容の方向性	
	<input type="radio"/> A 現状維持 <input checked="" type="radio"/> B 内容の見直し <input type="radio"/> C 統廃合・休止・終了	理由 平成21年度は京都府が高校総体の会場になっていたため。
改善	事業規模の方向性	
	<input type="radio"/> A 事業拡大 <input checked="" type="radio"/> B 現状維持 <input type="radio"/> C 事業縮小	理由 平成26年度までの間に京都府で開催はない。

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号  
社会 39

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	03	01	01
	細事業名	体育施設管理運営事業				

担当部局
教育委員会事務局
担当課等
社会教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 地域住民に身近な地域スポーツ活動の拠点施設として、体育施設を管理運営することで、地域でのスポーツ振興を図るとともに、スポーツ競技団体の競技力の向上及び青少年等の社会性の体得に貢献する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 良好な社会体育施設の維持管理。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市民がスポーツを実施する上で、支障なく利用してもらえるように社会体育施設の維持管理を行い、市のスポーツの普及・発展に貢献した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市民がスポーツを実施する上で、支障なく利用してもらえるよう社会体育施設の維持管理を行い、市のスポーツ普及・発展に貢献した。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	11	14,417	国庫支出金	使用料	3,058
	12	826	府支出金	諸収入	2
	13	15,510	起債		
	14	218	分担金・負担金		
	15	1,072	その他		
	16	22			
	18	158			
事業費合計		32,223	合計		32,223

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか ○ 進捗している(できている) ○ ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 地域住民に身近な場所で、スポーツをする場を提供することができたと考える。 ○ × 遅れている(できていない)
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか ○ 削減の余地がなかった ○ ▲ 少し削減の余地があった 理由 地域住民に身近な場所でのスポーツ活動の推進のため必要な経費である。 ○ × 削減の余地があった

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
				一般財源	
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 スポーツ活動の拠点として設備の充実と利便性を向上させ、市民の利用に支障のないよう今後も維持管理を引続き実施していく必要がある。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 今後も引き続き体育施設を開放し、維持管理を行っていく。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号  
社会 40

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	03	02	01
細事業名		社会体育用学校開放施設管理運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 地域住民に最も身近な地域スポーツ活動の拠点施設として、学校体育施設を開放することで、地域でのスポーツ振興を図るとともに、スポーツ競技団体の競技力の向上及び青少年等の社会性の体得に貢献する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 学校に支障のない範囲で、市民が常に施設利用できるように、維持管理に努める。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 地域でのスポーツ振興を図るとともに、競技力の向上及び社会性を身につける場として、学校教育に支障のない範囲で、市民へ学校施設を開放し、利用していただいた。また、常に利用可能なように学校体育施設の維持管理に努めた。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 学校体育施設を開放することにより、地域スポーツの振興、競技力向上及び青少年等の社会性の育成に貢献できた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	2,724	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他	小中学校使用料	3,155
			一般財源		-431
事業費合計		2,724	合計		2,724

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 地域スポーツの振興及び競技力向上が図られたと考える。
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	○ × 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
	○ 削減の余地がなかった	理由 地域住民の身近な場所でのスポーツ活動の推進のため必要な経費である。
	○ ▲ 少し削減の余地があった	
	○ × 削減の余地があった	

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 地域スポーツの振興と競技力向上及び社会性の育成の場として今後も学校体育施設を開放していくことが必要不可欠と考える。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 今後も市内全域の学校体育施設を開放し、維持管理を行っていく。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号  
社会 26

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	03	01	01
	細事業名	図書館管理運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

<b>PLAN</b>	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 2 図書館ネットワークの確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) ・市民の求める、読書や情報収集の支援と、知的要求に応える生涯学習都市の実現のため各種事業を実施するなど役に立つ図書館サービスの充実を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 図書館システム更新によって、さらに利便性を図る。資料費の充実による市内図書館全体の利用の増大。貸出点数430,000点(内、個人貸出350,000点。学校再配置により団体貸出は減少が見込まれる)

<b>DO</b>	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) ・利用者ニーズ、話題性、資料的価値観等を考慮した図書館資料を購入し、円滑に利用者に提供。 ・レファレンスサービス(調べ物の資料提供)など役に立つ図書館サービスの充実を図った。 ・学校等関係機関と連携し子どもの読書活動を推進するため、団体貸出の実施及び読み聞かせ等の支援活動を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市内間の貸出のネットワークが確立したため、予約・取寄せ件数が増えた。各館とも各種事業を拡充した。 平成21年度貸出点数 421,337点(内、個人貸出337,630点)平成20年度 397,470点(内、個人貸出321,956点)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	1	80	財源内訳	国庫支出金	
	4	2,839		府支出金	
	7	26,006		起債	
	8・9	74		分担金・負担金	
	11・12	4,803		その他	
	13	1,632			
	14	730			
	18・19	12,509		一般財源	48,673
	事業費合計	48,673		合計	48,673

<b>CHECK</b>		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 図書館システムの統合に伴って図書館の配送システムが確立したことにより、市内の資料の循環が円滑に図られ、予約・取寄せの件数及び個人の貸出点数が増加した。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 図書館システムの統合により、資料費の有効活用を図ったが、年間8万点の本が出版され、1冊の単価も上がっている中、市民の読書要求は多様化しており、新鮮な本を置くために図書費の増額が課題。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目			財源内訳	国庫支出金	
				府支出金	
				起債	
				分担金・負担金	
				その他	
				一般財源	
	事業費合計			合計	

<b>ACTION</b>		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 市立図書館が一体となって市民により良いサービスを提供していく。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由 市民のニーズを的確に捉え、新着資料と所蔵している豊富な資料を活用したコーナー作りや図書館だより、ホームページによる情報発信等により、新たな利用者増に努め、レファレンスの充実等、役に立つ図書館を目指す。
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 5

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	06	01
	細事業名	障害者教育事業				

担当部署	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 体験学習や研修活動を通して交流を深め障害者の学習活動や社会参加を促進する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 様々な体験活動の実施と放課後や休日における子どもの居場所づくり

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 視覚障害者及び聴覚障害者を対象とした体験実習と環境学習・応急手当講習などの研修会を実施した。また、京都府が実施する同研修会へ参加するための支援と網野青年学級の運営支援(132千円)を行った。 ○視覚障害者研修会 42名参加 ○聴覚障害者研修会 26名参加
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 障害者の社会参加と交流の促進

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	52	国庫支出金		
	9	2	府支出金		
	11	16	起債		
	13	37	分担金・負担金		
	19	132	その他		
			一般財源		239
事業費合計		239	合計		239

CHECK									
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか								
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">網野地域の青年学級への支援について、他地域とのバランスにも配慮し、検証する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	▲	○ 進捗している(できている)	理由	網野地域の青年学級への支援について、他地域とのバランスにも配慮し、検証する必要がある。		▲ 少し遅れている(少しできていない)	×	× 遅れている(できていない)
▲	○ 進捗している(できている)	理由	網野地域の青年学級への支援について、他地域とのバランスにも配慮し、検証する必要がある。						
	▲ 少し遅れている(少しできていない)								
×	× 遅れている(できていない)								
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか								
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">必要最小限の予算で事業を実施している。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	○ 削減の余地がなかった	理由	必要最小限の予算で事業を実施している。		▲ 少し削減の余地があった		× 削減の余地があった
○	○ 削減の余地がなかった	理由	必要最小限の予算で事業を実施している。						
	▲ 少し削減の余地があった								
	× 削減の余地があった								

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION									
改善	事業内容の方向性								
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">障害者の数少ない学習・交流の場であり広く参加が得られるような工夫をしながら継続して実施する必要があるが、網野地域の青年学級への支援について、他地域とのバランスにも配慮し、検証する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	現状維持	理由	障害者の数少ない学習・交流の場であり広く参加が得られるような工夫をしながら継続して実施する必要があるが、網野地域の青年学級への支援について、他地域とのバランスにも配慮し、検証する必要がある。	B	内容の見直し	C	統廃合・休止・終了
A	現状維持	理由	障害者の数少ない学習・交流の場であり広く参加が得られるような工夫をしながら継続して実施する必要があるが、網野地域の青年学級への支援について、他地域とのバランスにも配慮し、検証する必要がある。						
B	内容の見直し								
C	統廃合・休止・終了								
	事業規模の方向性								
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">障害者の貴重な学習と交流の場であり、対象者からも開催の要望が強い事業である。また、視覚・聴覚障害者は、高齢者が多く今後ますます必要性が高まる事業である。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>事業縮小</td> </tr> </table>	A	事業拡大	理由	障害者の貴重な学習と交流の場であり、対象者からも開催の要望が強い事業である。また、視覚・聴覚障害者は、高齢者が多く今後ますます必要性が高まる事業である。	B	現状維持	C	事業縮小
A	事業拡大	理由	障害者の貴重な学習と交流の場であり、対象者からも開催の要望が強い事業である。また、視覚・聴覚障害者は、高齢者が多く今後ますます必要性が高まる事業である。						
B	現状維持								
C	事業縮小								

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 6

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	07	01
	細事業名	成人教育事業				

担当部署	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市民のニーズにあった趣味や教養などの学習機会を提供することにより、市民が生涯を通して、いつでも自由に学び楽しむことができる生涯学習社会の実現を目指す。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 事業参加者の増加及びサークル化

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市民を対象とした各種の趣味教養講座(IT講習会、デッサン、絵手紙、デジカメ、囲碁、詩吟、剪定、料理講習など)や、健康体づくり、学習講座など市民のニーズに即した各種事業を実施した。8事業(65回);延べ616名が参加
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市民の各種講座への参加者の増加及び生涯学習活動の充実

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	141	国庫支出金		
	11	51	府支出金		
	12	8	起債		
	13	208	分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		408
事業費合計		408	合計		408

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">地域公民館の連携や広域的な事業の展開が定着しつつある。また、サークルの育成を図ることができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	地域公民館の連携や広域的な事業の展開が定着しつつある。また、サークルの育成を図ることができた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
○ 進捗している(できている)	理由	地域公民館の連携や広域的な事業の展開が定着しつつある。また、サークルの育成を図ることができた。				
▲ 少し遅れている(少しできていない)						
× 遅れている(できていない)						
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学習者にも一定の費用負担をしていただいている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	学習者にも一定の費用負担をしていただいている。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	学習者にも一定の費用負担をしていただいている。				
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了</td> <td>理由</td> <td>市民のニーズや地域課題を的確に把握し、講座の内容の充実を図り、市民団体・サークル活動の育成を図る。</td> </tr> </table>	A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由	市民のニーズや地域課題を的確に把握し、講座の内容の充実を図り、市民団体・サークル活動の育成を図る。
A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由	市民のニーズや地域課題を的確に把握し、講座の内容の充実を図り、市民団体・サークル活動の育成を図る。		
	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小</td> <td>理由</td> <td>学習者へも一定の負担をいただきながら各種の生涯学習機会を提供し、地域人材を活用した講座の充実を図る。</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由	学習者へも一定の負担をいただきながら各種の生涯学習機会を提供し、地域人材を活用した講座の充実を図る。
B	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由	学習者へも一定の負担をいただきながら各種の生涯学習機会を提供し、地域人材を活用した講座の充実を図る。		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 7

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	08	01
	細事業名	女性教育事業				

担当部署	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 女性団体の活動を支援するとともに、女性の身近な場での学習機会を提供することによって、女性の社会参加と組織化を促進する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 事業参加者の増加と組織化の促進

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 京丹後市連合婦人会(361千円)及び網野生活学校(49千円)への活動支援及び、地区公民館を単位とした女性講座を開設し、地域での交流活動を通して、連帯意識を高める取り組みを進めた。3事業(11回);延べ121名が参加
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 連合婦人会組織を中心とした自発的な活動と女性組織の発展が見られた

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	54	国庫支出金		
	11	22	府支出金		
	19	410	起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		486
事業費合計		486	合計		486

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>理由</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 婦人会組織の構成に地域格差が生じている。地域での女性組織の育成が課題となっている。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	理由	進捗している(できている)	理由 婦人会組織の構成に地域格差が生じている。地域での女性組織の育成が課題となっている。	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
理由	進捗している(できている)	理由 婦人会組織の構成に地域格差が生じている。地域での女性組織の育成が課題となっている。					
▲	少し遅れている(少しできていない)						
×	遅れている(できていない)						
改善	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>理由</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 団体への活動補助金を段階的に削減してきたが、現状の組織体制を維持し、事業を実施するためには現行の予算が必要と思われる。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	理由	削減の余地がなかった	理由 団体への活動補助金を段階的に削減してきたが、現状の組織体制を維持し、事業を実施するためには現行の予算が必要と思われる。	▲	少し削減の余地があった	×
理由	削減の余地がなかった	理由 団体への活動補助金を段階的に削減してきたが、現状の組織体制を維持し、事業を実施するためには現行の予算が必要と思われる。					
▲	少し削減の余地があった						
×	削減の余地があった						

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 8

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	09	01
	細事業名	高齢者教育事業				

担当部署	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 高齢者に生涯学習の機会を提供し、高齢者の生きがいを高めるとともに学習の成果を地域へ還元することによって、地域コミュニティの再生及び活性化を図る。 事業の概要 (何を対象に、何をしたか) 高齢者の社会参加と人材の養成及び活用を図るため「生涯学習ボランティア養成講座」を実施した。1事業(4回);延べ80名 事業の効果 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 学習機会の充実と指導者としての人材育成及び活用 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 研修会参加者の増加と指導者の養成及び活用

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 高齢者の社会参加と人材の養成及び活用を図るため「生涯学習ボランティア養成講座」を実施した。1事業(4回);延べ80名
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 学習機会の充実と指導者としての人材育成及び活用

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	48	国庫支出金		
	9	9	府支出金		
	11	27	起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		84
事業費合計		84	合計		84

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	<input type="radio"/> 進捗している(できている) <input checked="" type="radio"/> 少し遅れている(少しできていない) <input type="radio"/> 遅れている(できていない)	理由 継続的な事業の実施及び体制整備、関係機関の連携が必要である。
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	
	<input type="radio"/> 削減の余地がなかった <input checked="" type="radio"/> 少し削減の余地があった <input type="radio"/> 削減の余地があった	理由 講座内容の充実を図るための予算措置が必要である。

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	<input type="radio"/> A 現状維持 <input type="radio"/> B 内容の見直し <input type="radio"/> C 統廃合・休止・終了	理由 地域の学習活動に経験豊かな高齢者の人材を活用することができるシステムの構築と、自主的な運営を行う生涯学習サークルの育成が必要である。
	事業規模の方向性	
	<input type="radio"/> A 事業拡大 <input type="radio"/> B 現状維持 <input type="radio"/> C 事業縮小	理由 専門的な指導者を養成することを目的とした講座を企画することができる予算措置が必要である。



平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 10

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	11	01
細事業名	芸術文化事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 文化活動を通じた地域の振興とまちづくり。住民の教養の向上、生活文化の振興。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 事業実施にあたり文化協会各団体の自主運営化の促進(行政依存的体質の改善)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 従来旧6町に存在した文化協会(文化団体協議会)を解消し、平成21年7月1日に京丹後市文化協会を発足させた。また平成22年3月には、京都府丹後文化会館及び峰山地域公民館を会場に市総合文化祭(ステージ、展示)を実施した。市民を対象とした事業の実施(公共ホール音楽活性化事業、小町ろまん短歌大会、府丹後文化会館への補助)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 文化協会において活動目的と補助金の使途についての共通理解ができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	195	国庫支出金		
	12	77	府支出金		
	13	942	起債		
	14	253	分担金・負担金		
	19	31,542	その他	公共ホール音楽活性化事業負担金	310
			その他	公演入場料	270
			一般財源		32,429
事業費合計		33,009	合計		33,009

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 市文化協会の設立と各種文化芸術事業の実施
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	○ × 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 事業の効率化を目指しての市文協設立のため、第一段階として規約と予算を共有することを主としたため(補助金削減を目的とした市文化協会の設立でなかったため)。	
○ ▲ 少し削減の余地があった		
○ × 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 個人の楽しみの域をでない公共性・公益性の低い活動費用についての自己負担化
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由 文化活動を通じた地域の振興とまちづくりのため
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 11

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	12	01
	細事業名	人権教育事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) V パートナースシップ都市 計画項目 (施策) ③ 人権の尊重 施策方針 1 人権学習の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 様々な人権課題についての正しい理解と認識を深める。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 人権研修・学習会への出席者数 1,000人

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 国際理解、親子・地域の絆をテーマとした人権講演会をそれぞれ開催するとともに、映画を活用した人権学習会を各地域で実施し人権意識の高揚を図った。10回;延べ738名参加
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 多様な人権課題に関する理解が深まり、人権意識の高揚が図れた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	9	19	国庫支出金		
	11	107	府支出金	人権問題啓発事業費補助金	296
	12	76	起債		
	13	244	分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		150
事業費合計		446	合計		446

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">人権学習会への参加者の固定化への対策と人権啓発推進協議会の加盟団体等と連携した事業の実施などを進める必要がある。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	人権学習会への参加者の固定化への対策と人権啓発推進協議会の加盟団体等と連携した事業の実施などを進める必要がある。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)	
	○ 進捗している(できている)	理由			人権学習会への参加者の固定化への対策と人権啓発推進協議会の加盟団体等と連携した事業の実施などを進める必要がある。		
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
× 遅れている(できていない)							
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">京都府の補助事業を活用して事業を実施する。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	京都府の補助事業を活用して事業を実施する。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった		
○ 削減の余地がなかった	理由			京都府の補助事業を活用して事業を実施する。			
▲ 少し削減の余地があった							
× 削減の余地があった							

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	一般市民を対象とした人権啓発事業は、市民課が所管し、各種団体等の指導者や関係機関職員を対象とした人権学習を社会教育課で担当する。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由	幅広い人権課題をテーマとした学習会を継続的に行う必要がある。
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号  
社会 36

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称 一般会計	款 10	項 06	目 02	事業 03	細事業 01
細事業名	地域スポーツ振興事業					

担当部局 教育委員会事務局
担当課等 社会教育課

<b>PLAN</b>	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	市民の健康づくりや、スポーツを通じた住民間・地域間の交流機会の拡充、そして地域力の活性化を図る。
平成26年度 事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
教室、大会への参加者を増やし、スポーツ実施率を50%に近づける。	

<b>DO</b>	
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 子どもから高齢者まで誰もが気軽にスポーツや体力づくり活動を行えるよう、地域の特性を生かしたスポーツ教室や大会などの事業を実施した。また、網野スポーツ祭、あみの八丁浜ロードレース大会への補助金を交付し、財政支援を行った。
平成21年度 事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 体育指導委員と連携し、住民向けの講習会を146回開催した。(参加者約2,000人) ニュースポーツ交流大会には、58チームの参加があった。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	8	286	財源内訳	国庫支出金	
	11	513		府支出金	
	12	1		起債	
	13	2,535		分担金・負担金	
	14	36		その他	
	19	1,337			
事業費合計		4,708	一般財源		4,708
			合計		4,708

<b>CHECK</b>		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	<input type="radio"/> 進捗している(できている) <input checked="" type="radio"/> 少し遅れている(少しできていない) <input type="radio"/> 遅れている(できていない)	理由 誰もが気軽に楽しむことができるニュースポーツや地域の特性を生かした教室や大会等を実施し、市民の体力・健康・生きがい作りの機会拡充に繋がった。
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	
	<input type="radio"/> 削減の余地がなかった <input checked="" type="radio"/> 少し削減の余地があった <input type="radio"/> 削減の余地があった	理由 各種教室や講習会、大会を開催するにあたり必要な経費である。

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度 事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度 事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目			財源内訳	国庫支出金	
				府支出金	
				起債	
				分担金・負担金	
				その他	
事業費合計			一般財源		
			合計		

<b>ACTION</b>		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 地域のスポーツ活動を推進し、誰もが気軽にスポーツに親しめるきっかけづくりとして、スポーツ教室や大会開催は有効であると思われる。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 地域の特性に応じた事業と、市全域で取り組む事業を引続き実施し、スポーツ実施率の向上を図る。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

文化 1

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	04	01	01
細事業名	郷土資料館管理運営事業					

担当部署	教育委員会事務局
担当課等	文化財保護課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ⑤ 歴史文化遺産の保全と活用 施策方針 1 歴史資料館のネットワーク
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	京丹後市内の民俗資料を収蔵・公開するための資料館の維持管理運営を行う事業
事業の効果目標	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
	年間入館者1,000人

DO	
平成21年度事業の実績 (何を対象に、何をしたか)	市民および市外からの来訪者のために、豊富に残る市所蔵や寄贈を受けた民俗資料を適切に保管・公開し、文化財保護の普及啓発をはかる郷土資料館の維持管理運営を行った。普及啓発事業として、『商いと道具』などの企画展示を5回、網野郷土資料館まつりなどを開催した。また小規模な修繕として、床下の白蟻防除処理および玄関ポーチ・1階展示室床修繕を行った。
平成21年度事業の効果 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	年間入館者985人ということで、目標の1,000人にわずかに届かなかった

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	4	4	国庫支出金		
	7	1,472	府支出金		
	11	383	起債		
	12	98	分担金・負担金		
	13	595	その他	郷土資料館入館料	36
	14	112			
	16	95			
	18	22	一般財源		2,745
事業費合計		2,781	合計		2,781

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">平成20年度年間入館者数に比べ、微減した。企画展示などを開催し、管内小学生の授業での見学は多いが、一般の入館者が少なく今後の検討課題である。昭和20年建築の旧木津小学校校舎を利用した建物で、建築から60年以上が経過し、施設の老朽化が進んでおり、修繕リニューアルが検討課題である</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	平成20年度年間入館者数に比べ、微減した。企画展示などを開催し、管内小学生の授業での見学は多いが、一般の入館者が少なく今後の検討課題である。昭和20年建築の旧木津小学校校舎を利用した建物で、建築から60年以上が経過し、施設の老朽化が進んでおり、修繕リニューアルが検討課題である	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)	
	○ 進捗している(できている)	理由			平成20年度年間入館者数に比べ、微減した。企画展示などを開催し、管内小学生の授業での見学は多いが、一般の入館者が少なく今後の検討課題である。昭和20年建築の旧木津小学校校舎を利用した建物で、建築から60年以上が経過し、施設の老朽化が進んでおり、修繕リニューアルが検討課題である		
▲ 少し遅れている(少しできていない)							
× 遅れている(できていない)							
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">可能なものは長期継続契約を行うなど経費の節減に努めており、不要の予算はなく、削減の余地はない</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	可能なものは長期継続契約を行うなど経費の節減に努めており、不要の予算はなく、削減の余地はない	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由	可能なものは長期継続契約を行うなど経費の節減に努めており、不要の予算はなく、削減の余地はない					
▲ 少し削減の余地があった							
× 削減の余地があった							

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要 (何を対象に、何をするか)					
平成22年度事業の効果目標 (平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)					
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	A	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">小中学校の地域学習の拠点施設としても活用しており、市内外からの来訪者が市内のひとむかし前の生活を知る上で重要な拠点施設である。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	小中学校の地域学習の拠点施設としても活用しており、市内外からの来訪者が市内のひとむかし前の生活を知る上で重要な拠点施設である。	B 内容の見直し	C 統廃合・休止・終了	
	A 現状維持	理由	小中学校の地域学習の拠点施設としても活用しており、市内外からの来訪者が市内のひとむかし前の生活を知る上で重要な拠点施設である。					
	B 内容の見直し							
C 統廃合・休止・終了								
事業規模の方向性								
A	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">資料館職員の努力により企画展示を行ったり、施設の修繕を行うなど、現在の施設を最大限活用する努力を行っている。施設の老朽化が進んでいるため、修繕必要箇所が増加しており、リニューアルと修繕が検討課題である。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	資料館職員の努力により企画展示を行ったり、施設の修繕を行うなど、現在の施設を最大限活用する努力を行っている。施設の老朽化が進んでいるため、修繕必要箇所が増加しており、リニューアルと修繕が検討課題である。	B 現状維持	C 事業縮小		
A 事業拡大	理由	資料館職員の努力により企画展示を行ったり、施設の修繕を行うなど、現在の施設を最大限活用する努力を行っている。施設の老朽化が進んでいるため、修繕必要箇所が増加しており、リニューアルと修繕が検討課題である。						
B 現状維持								
C 事業縮小								

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

文化 2

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	04	02	01
細事業名	古代の里資料館管理運営事業					

担当部署	教育委員会事務局
担当課等	文化財保護課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ⑤ 歴史文化遺産の保全と活用 施策方針 1 歴史資料館のネットワーク
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京丹後市内の考古・歴史資料を収集・公開するための資料館の維持管理運営を行う事業 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 年間入館者6000人 平成26年度事業の効果目標

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市民および市外からの来訪者のために、収蔵資料(考古・歴史資料)を適切に保管・展示し、文化財保護の普及啓発をはかる施設として維持管理運営を行った。普及啓発事業として、企画展示4回、特別展示『丹後王国の精華』や古代の里まつりを開催した。平成21年度は、通常の維持管理のほか、小修繕として復原竪穴住居(弥生時代)入口屋根修繕、陶芸窯バーナー、の修繕、自動火災報知機の修繕を実施した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 年間入館者4,118人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	1	1,998	国庫支出金		
	4・7	3,449	府支出金		
	9	115	起債		
	11	2,561	分担金・負担金		
	12	174	その他	資料館入館料	658
	13	854		公有財産使用料	148
	14	301		雑入	265
	16	67	一般財源		8,448
事業費合計		9,519	合計		9,519

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	<table border="1"> <tr> <td>理由</td> <td>平成20年度年間入館者数に比べ、微減した。普及啓発事業として企画展示、特別展示を開催し、展示解説、無料開放日を開催しているが入館者が減少しており検討課題である。平成6年のオープンより15年が経過し、展示リニューアルや施設の修繕が必要となっている</td> </tr> </table>	理由
理由	平成20年度年間入館者数に比べ、微減した。普及啓発事業として企画展示、特別展示を開催し、展示解説、無料開放日を開催しているが入館者が減少しており検討課題である。平成6年のオープンより15年が経過し、展示リニューアルや施設の修繕が必要となっている	
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	
	<table border="1"> <tr> <td>理由</td> <td>可能なものは長期継続契約を行うなど経費の節減に努めており、不要の予算はなく、削減の余地はない</td> </tr> </table>	理由
理由	可能なものは長期継続契約を行うなど経費の節減に努めており、不要の予算はなく、削減の余地はない	

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	<table border="1"> <tr> <td>理由</td> <td>小中学校の地域学習の拠点施設としても活用しており、市内外からの来訪者が市内の歴史を知る上で重要な拠点施設である。</td> </tr> </table>	理由
理由	小中学校の地域学習の拠点施設としても活用しており、市内外からの来訪者が市内の歴史を知る上で重要な拠点施設である。	
改善	事業規模の方向性	
	<table border="1"> <tr> <td>理由</td> <td>常設展示は、旧丹後町のものを引き継いだものに市内全域の資料を付加する形で拡充する努力を行っているが、リニューアルする必要がある。また施設の老朽化も進み、今後、修繕必要箇所が増加する。</td> </tr> </table>	理由
理由	常設展示は、旧丹後町のものを引き継いだものに市内全域の資料を付加する形で拡充する努力を行っているが、リニューアルする必要がある。また施設の老朽化も進み、今後、修繕必要箇所が増加する。	

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

文化 3

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	04	03	01
	細事業名	指定管理施設運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	文化財保護課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ⑤ 歴史文化遺産の保全と活用 施策方針 3 文化財の保存と活用
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 琴引浜は国指定天然記念物及び名勝であり、鳴き砂は貴重な自然遺産であり、その重要性から琴引浜鳴き砂文化館を拠点として、自然環境保護の普及啓発を図る。 (何を対象に、何をしたか) 琴引浜は、鳴き砂の浜として本市の豊かな自然環境のシンボルとなっており、この美しい自然と鳴き砂の自然環境保護の普及啓発のため、情報拠点として琴引浜鳴き砂文化館を管理運営する事業である。琴引浜の管理運営については、指定管理者制度により地元掛津区へ年間5959千円で委託した。また、建物は日本ナショナルトラストの所有であり、年間1200千円で建物を借り受けている。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 入館者数 20,000人

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 琴引浜は、鳴き砂の浜として本市の豊かな自然環境のシンボルとなっており、この美しい自然と鳴き砂の自然環境保護の普及啓発のため、情報拠点として琴引浜鳴き砂文化館を管理運営する事業である。琴引浜の管理運営については、指定管理者制度により地元掛津区へ年間5959千円で委託した。また、建物は日本ナショナルトラストの所有であり、年間1200千円で建物を借り受けている。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 21年度実績入館者数 12,684人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	11	153	国庫支出金		
	12	6	府支出金		
	13	5,959	起債		
	14	1,200	分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		7,318
事業費合計		7,318	合計		7,318

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">入館者数は微減だが、新規事業(松林整備事業、宿泊体験学習)への協力等意欲的に取り組めた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	入館者数は微減だが、新規事業(松林整備事業、宿泊体験学習)への協力等意欲的に取り組めた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	入館者数は微減だが、新規事業(松林整備事業、宿泊体験学習)への協力等意欲的に取り組めた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
改善	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">琴引浜鳴き砂文化館は平成13年にオープンし、開館以来入館者数は15,000人前後を推移し通常の同様の施設に比べて大きく減少していないが、普及啓発活動の取組みによるものだと推定される。しかし指定管理制度による維持管理運営が厳しく、施設管理運営は今後の課題である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	琴引浜鳴き砂文化館は平成13年にオープンし、開館以来入館者数は15,000人前後を推移し通常の同様の施設に比べて大きく減少していないが、普及啓発活動の取組みによるものだと推定される。しかし指定管理制度による維持管理運営が厳しく、施設管理運営は今後の課題である。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	琴引浜鳴き砂文化館は平成13年にオープンし、開館以来入館者数は15,000人前後を推移し通常の同様の施設に比べて大きく減少していないが、普及啓発活動の取組みによるものだと推定される。しかし指定管理制度による維持管理運営が厳しく、施設管理運営は今後の課題である。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号  
文化 10

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般	10	05	06	06	01
	細事業名	遺跡整備事業				

担当部局	教育委員会
担当課等	文化財保護課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ⑤ 歴史文化遺産の保全と活用 施策方針 3 文化財の保存と活用
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京丹後市に所在する重要な史跡等について、保存を図り、市内外の人々にとって交流・学習の資源へ有効活用するよう環境整備する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 遺跡環境整備を1ヶ所行なう。『丹後王国』とも称される国指定史跡等の整備を行い京丹後市民の郷土に対する誇りを高め、観光資源としても活用する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 平成21年度は、墳丘裾が一部崩落した国指定史跡・赤坂今井墳墓の緊急復旧工事を実施した。あわせて、国指定史跡・網野銚子山古墳の墳丘部分の下草刈りを実施した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 赤坂今井墳墓の墳丘の保全をおおむね図ることができた。 網野銚子山古墳の墳丘の特徴を視覚的にとらえることが可能となった。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	9	13	国庫支出金		
	11	18	府支出金		
	13	247	起債		
	15	645	分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		923
事業費合計		923	合計		923

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">発掘調査事業の調査期間が延長したことにより、整備実施年度計画についても変更が必要となっている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	発掘調査事業の調査期間が延長したことにより、整備実施年度計画についても変更が必要となっている。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)	
	○ 進捗している(できている)	理由			発掘調査事業の調査期間が延長したことにより、整備実施年度計画についても変更が必要となっている。		
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
× 遅れている(できていない)							
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">現状を維持するため必要最低限の環境整備費を計上している。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	現状を維持するため必要最低限の環境整備費を計上している。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった		
○ 削減の余地がなかった	理由			現状を維持するため必要最低限の環境整備費を計上している。			
▲ 少し削減の余地があった							
× 削減の余地があった							

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">本事業は総合計画に掲げられた目的を達成するために必要な事業であり、長期間継続して実施する必要はあるが効果の大きい事業である。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	本事業は総合計画に掲げられた目的を達成するために必要な事業であり、長期間継続して実施する必要はあるが効果の大きい事業である。	B 内容の見直し	C 統廃合・休止・終了	
	A 現状維持	理由			本事業は総合計画に掲げられた目的を達成するために必要な事業であり、長期間継続して実施する必要はあるが効果の大きい事業である。		
	B 内容の見直し						
C 統廃合・休止・終了							
事業規模の方向性							
<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">遺跡発掘調査事業と連動する部分があるが、今後個別の実施計画や場合によっては整備工事を行う必要があり、事業拡大の方向にすべきと思われる。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	遺跡発掘調査事業と連動する部分があるが、今後個別の実施計画や場合によっては整備工事を行う必要があり、事業拡大の方向にすべきと思われる。	B 現状維持	C 事業縮小		
A 事業拡大	理由			遺跡発掘調査事業と連動する部分があるが、今後個別の実施計画や場合によっては整備工事を行う必要があり、事業拡大の方向にすべきと思われる。			
B 現状維持							
C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

文化 4

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	06	01	01
細事業名	文化財保護審議会委員設置事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	文化財保護課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ⑤ 歴史文化遺産の保全と活用 施策方針 3 文化財の保存と活用
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	京丹後市の文化財を指定するために評価・判断をする諮問機関、また文化財保護行政に関する意見申をする機関として設置 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 新規市文化財指定 4件

DO	
平成21年度事業の実績 (何を対象に、何をしたか)	審議会を年4回開催。京丹後市内にある数多くの文化財の中から、市指定文化財を調査研究した。また、委員の見識を高める研修会を実施した。委員研究記録の第1号を発刊した。
平成21年度事業の効果 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	市指定文化財 2件追加 審議会開催 4回 委員研究記録発行 1回

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	1	218	国庫支出金		
	9	166	府支出金		
	11	12	起債		
	13	38	分担金・負担金		
	14	10	その他		
			一般財源		444
事業費合計		444	合計		444

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 計画通り何4回の審議会開催で委員任期の1期2年間で指定文化財を2件追加指定できた。
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	○ × 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
改善	○ 削減の余地がなかった	理由 審議会経費と研修経費のみ。
	○ ▲ 少し削減の余地があった	
	○ × 削減の余地があった	

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要 (何を対象に、何をするか)					
平成22年度事業の効果目標 (平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)					
歳出		歳入			
予算科目	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		



平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

文化 5

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	06	02	01
細事業名	文化財保護啓発事業					

担当部署	教育委員会事務局
担当課等	文化財保護課

<b>PLAN</b>	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ⑤ 歴史文化遺産の保全と活用 施策方針 3 文化財の保存と活用
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市民および市外からの来訪者に対して、市内にある指定文化財等の貴重な資料を見る機会を設け、あわせて講座開催により資料を読み・考える機会を設け、文化財に対する理解を深める 事業の目的 (何を対象に、何をしたか) 市民および市外からの来訪者を対象に、『京丹後市史資料編 京丹後市の考古資料』発刊とタイアップした特別展示の開催および発刊記念シンポジウムを開催したほか、丹後古代の里資料館を活用した特別展示・コーナー展示を4回開催した。また市民を対象とした「京丹後史博士」育成講座を9回開催し、延べ159名の参加を得たほか、文化財セミナーを1回、丹後震災記念展を開催した。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 文化財博士の認定者数100人 企画展示・特別展示の開催による文化財の普及啓発の充実

<b>DO</b>	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市民および市外からの来訪者を対象に、『京丹後市史資料編 京丹後市の考古資料』発刊とタイアップした特別展示の開催および発刊記念シンポジウムを開催したほか、丹後古代の里資料館を活用した特別展示・コーナー展示を4回開催した。また市民を対象とした「京丹後史博士」育成講座を9回開催し、延べ159名の参加を得たほか、文化財セミナーを1回、丹後震災記念展を開催した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 文化財博士等の認定者数3人 企画展示の実施4回 入館者3,344人、特別展示『丹後王国の精華』 入館者373人 丹後震災記念展 入館者171人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	223	国庫支出金		
	9	112	府支出金		
	11	298	起債		
	12	408	分担金・負担金		
	14	5	その他	雑入	13
			一般財源		1,033
事業費合計		1,046	合計		1,046

<b>CHECK</b>	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか
	理由 ○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) × 遅れている(できていない)
理由	文化財博士の認定者数が増加しておらず、今後の課題であるが、京丹後市史の考古資料編の発刊に併せて、特別展と記念シンポジウムを開催し、多数の参加者があった。文化財博士等認定者 3人、文化財博士認定者 延34人
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	
理由 ○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった × 削減の余地があった	理由 「京丹後史博士」育成講座や企画展示、特別展示については、指定文化財の資料の搬入・搬出等の特殊な業務を除いて、展示キャプション、解説などの資料については、職員による手作りのもので運営しており削減の余地はなかった。

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

<b>ACTION</b>	
改善	事業内容の方向性
	理由 A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了
理由	企画展示や文化財セミナーは、文化財全般や「京丹後市史」の成果を広く知っていただく機会として重要である。「京丹後史博士」育成講座は、文化財へのサポーターの裾野を広げるための事業として、今後も継続して実施する必要がある。
事業規模の方向性	
理由 A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由 企画展示や文化財セミナーは、文化財全般や「京丹後市史」の成果を広く知っていただく機会として重要であり、今後も継続して実施する必要がある。また、市史編さん事業の調査した成果を市民に知ってもらうための企画展示を広く検討する。

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

文化 6

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	06	03	01
	細事業名	指定文化財等補助金				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	文化財保護課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ⑤ 歴史文化遺産の保全と活用 施策方針 3 文化財の保存と活用
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 郷土の貴重な文化財を管理維持するための事業を支援し、文化財所有者の経済的負担軽減を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 事業件数 20件

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 京丹後市内の文化財を対象に修繕等の事業に対し補助金を交付。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 補助金交付件数14件 補助金2,181千円 補助金交付対象事業の事業費 総額約 17,195千円

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	2,181	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		2,181
事業費合計		2,181	合計		2,181

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	<table border="1"> <tr> <td>理由</td> <td>京丹後市指定文化財等補助金は、交付要綱に基づき、指定文化財・見指定文化財の修理・補修等に対して補助金を交付するものである。文化財の修理・補修であるという性格上、文化財の価値を損なわない修理が原則である。採択基準の厳格化により件数が低下しているのが実情である。</td> </tr> </table>	理由
理由	京丹後市指定文化財等補助金は、交付要綱に基づき、指定文化財・見指定文化財の修理・補修等に対して補助金を交付するものである。文化財の修理・補修であるという性格上、文化財の価値を損なわない修理が原則である。採択基準の厳格化により件数が低下しているのが実情である。	
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	
	<table border="1"> <tr> <td>理由</td> <td>文化財の修理・補修であることより、文化財の価値を損なわないことが事業採択の原則である。従って、事業の採択基準を厳格にし事業内容を精査した上での補助金の交付である。件数が減少したが、事業内容については書く事業とも精査しており削減の余地はない。</td> </tr> </table>	理由
理由	文化財の修理・補修であることより、文化財の価値を損なわないことが事業採択の原則である。従って、事業の採択基準を厳格にし事業内容を精査した上での補助金の交付である。件数が減少したが、事業内容については書く事業とも精査しており削減の余地はない。	

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	<table border="1"> <tr> <td>理由</td> <td>文化財の所有者にとって、この補助金は維持管理のために必要なもの。</td> </tr> </table>	理由
理由	文化財の所有者にとって、この補助金は維持管理のために必要なもの。	
改善	事業規模の方向性	
	<table border="1"> <tr> <td>理由</td> <td>当事業補助金の対象文化財は、指定文化財だけでなく一定の基準を要する見指定文化財を対象としている。対象とする文化財は極めて多岐、多数にわたり貴重な文化財の保全の観点から十分な予算措置が必要である。</td> </tr> </table>	理由
理由	当事業補助金の対象文化財は、指定文化財だけでなく一定の基準を要する見指定文化財を対象としている。対象とする文化財は極めて多岐、多数にわたり貴重な文化財の保全の観点から十分な予算措置が必要である。	

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

文化 7

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	06	03	02
細事業名	史跡等維持管理事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	文化財保護課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ⑤ 歴史文化遺産の保全と活用 施策方針 3 文化財の保存と活用
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	郷土の貴重な文化財を管理維持する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
	市内遺跡 16件 指定文化財の看板整備

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 京丹後市内の国・府指定文化財の草刈等維持管理、京都府選定文化的景観「久美浜湾カキの養殖景観」案内看板の設置。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市内遺跡草刈等維持管理 16件 1,089件 主要な史跡の草刈等の維持管理により、史跡の見学等に便宜を図り、併せて史跡の維持管理を通じて文化財愛護につながる。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	215	国庫支出金		
	12	32	府支出金		
	13	1,110	起債		
	14	3	分担金・負担金		
	15	966	その他		
			一般財源		2,326
事業費合計		2,326	合計		2,326

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">遺跡の草刈等の維持管理については、毎年実施することが必要な事業であり、計画に従って実施した。遺跡の管理を通じて見学の利便を図り、併せて作業を通じて文化財愛護につながる。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	遺跡の草刈等の維持管理については、毎年実施することが必要な事業であり、計画に従って実施した。遺跡の管理を通じて見学の利便を図り、併せて作業を通じて文化財愛護につながる。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	遺跡の草刈等の維持管理については、毎年実施することが必要な事業であり、計画に従って実施した。遺跡の管理を通じて見学の利便を図り、併せて作業を通じて文化財愛護につながる。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">遺跡の草刈等の管理については、可能なものは地元で草刈委託して経費の削減に努めており、削減の余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	遺跡の草刈等の管理については、可能なものは地元で草刈委託して経費の削減に努めており、削減の余地はなかった。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	遺跡の草刈等の管理については、可能なものは地元で草刈委託して経費の削減に努めており、削減の余地はなかった。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">指定文化財の看板整備も不十分な現実があり、地元からの要望も多い。一度に整備は無理だが、今後も計画的に続けていく必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	指定文化財の看板整備も不十分な現実があり、地元からの要望も多い。一度に整備は無理だが、今後も計画的に続けていく必要がある。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	指定文化財の看板整備も不十分な現実があり、地元からの要望も多い。一度に整備は無理だが、今後も計画的に続けていく必要がある。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">維持管理という本事業の目的から現状維持が絶対必要。事業縮小になれば維持管理ができなくなる。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	維持管理という本事業の目的から現状維持が絶対必要。事業縮小になれば維持管理ができなくなる。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	維持管理という本事業の目的から現状維持が絶対必要。事業縮小になれば維持管理ができなくなる。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

文化 9

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	06	05	01
	細事業名	文化財整理事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	文化財保護課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ⑤ 歴史文化遺産の保全と活用 施策方針 3 文化財の保存と活用
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 郷土の貴重な文化資料を整理し、活用を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 市内の写真資料のデジタル化、市内の民俗資料の整理。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 未整理の写真資料のデジタルデータ化のため、臨時職員を雇用し、週3日の仕事を5月から12月にかけて実施した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) デジタル化資料点数 8,059点

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	7	480	国庫支出金		
	11	139	府支出金		
	12	2	起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		621
事業費合計		621	合計		621

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	20年度に比べ、デジタル化の点数も倍増している。
	○ 進捗している(できている)		
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	○ × 遅れている(できていない)		
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	事業の執行については、文化財作業に従事経験を有する臨時職員を雇用し、作業効率の点でも予算執行率もほぼ100%であり、削減の余地はない。
	○ 削減の余地がなかった		
	○ ▲ 少し削減の余地があった		
	○ × 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION				
改善	事業内容の方向性			
	A	A 現状維持	理由 行政所有の写真資料だけでも未整理のものが多く、デジタル化できれば文化財啓発活動にも有効に活用できる。	
		B 内容の見直し		
		C 統廃合・休止・終了		
		事業規模の方向性		
		B	A 事業拡大	理由 未整理の写真資料は数多く、計画的な実施が必要。
		B 現状維持		
		C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

文化 11

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般	10	05	06	07	01
細事業名	遺跡発掘調査事業					

担当部局	教育委員会
担当課等	文化財保護課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ⑤ 歴史文化遺産の保全と活用 施策方針 3 文化財の保存と活用
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京丹後市を代表する遺跡を効果的に整備・保護を進めるための資料を得るため、また、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り文化財の保護活用につなげるため、発掘調査等を実施する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 整備目的の発掘調査・測量調査を3ヶ所実施し、整備のプランを検討する材料を得るとともに調査成果の公開により、文化財保護思想の啓発に努める。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 整備目的で実施した網野銚子山古墳範囲確認調査については、陪塚である寛平法皇陵古墳周辺及び小銚子古墳の範囲確認調査を実施。両古墳の周辺それぞれにおいて、古墳築造段階での土地改変と見られる地山削り出し部分を確認。古墳周辺の造作様相の一部を知り得た。開発に伴う試掘調査として実施した松山遺跡試掘調査については、河岸段丘の山裾に近い上段部分で溝状遺構、土壌、柱穴群を確認。溝状遺構上面から古墳時代および飛鳥・奈良時代の土器片が出土し、遺跡の時期と範囲を推定する手がかりを得た。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 網野銚子山古墳については、追加指定を行うなど保護を図るべき範囲をほぼ確定できた。松山遺跡については、今後本調査を行うべき範囲を絞り込むことができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	4	3	国庫支出金	国宝重要文化財等保存整備費補助金	2,000
	7	1,055	府支出金	文化財緊急保存費補助金	1,000
	8	28	起債		
	9	82	分担金・負担金		
	11	543	その他		
	13	2,070			
	14	318			
事業費合計		4,099	一般財源		1,099
			合計		4,099

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">調査委員会等の指導により、確認調査の範囲を追加したことによる調査期間の超過 開発行為が発生したことに伴う発掘調査の実施による事業量の増加</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	調査委員会等の指導により、確認調査の範囲を追加したことによる調査期間の超過 開発行為が発生したことに伴う発掘調査の実施による事業量の増加	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	調査委員会等の指導により、確認調査の範囲を追加したことによる調査期間の超過 開発行為が発生したことに伴う発掘調査の実施による事業量の増加			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">補助対象となる、調査に必要な最低限の予算で事業執行しており、削減の余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	補助対象となる、調査に必要な最低限の予算で事業執行しており、削減の余地はなかった。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	補助対象となる、調査に必要な最低限の予算で事業執行しており、削減の余地はなかった。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">本事業は総合計画に掲げられた目的を達成するために必要な基礎的な事業であり、継続して実施する必要のある事業である。しかし、調査の実施時期、整備年次計画を見直す必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	本事業は総合計画に掲げられた目的を達成するために必要な基礎的な事業であり、継続して実施する必要のある事業である。しかし、調査の実施時期、整備年次計画を見直す必要がある。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由	本事業は総合計画に掲げられた目的を達成するために必要な基礎的な事業であり、継続して実施する必要のある事業である。しかし、調査の実施時期、整備年次計画を見直す必要がある。			
B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">保存活用に向け取り組むべき課題を持つ埋蔵文化財や開発により緊急調査の必要な埋蔵文化財があることから、当面は現状維持とすべきと考える。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	保存活用に向け取り組むべき課題を持つ埋蔵文化財や開発により緊急調査の必要な埋蔵文化財があることから、当面は現状維持とすべきと考える。	B 現状維持
A 事業拡大	理由	保存活用に向け取り組むべき課題を持つ埋蔵文化財や開発により緊急調査の必要な埋蔵文化財があることから、当面は現状維持とすべきと考える。			
B 現状維持					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

文化 12

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	06	08	01
細事業名	稲葉家資料展示活用事業					

担当部署	教育委員会事務局
担当課等	文化財保護課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ⑤ 歴史文化遺産の保全と活用 施策方針 3 文化財の保存と活用
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市民および市外からの来訪者に対して、稲葉家資料の適切な保管・展示をはかり、「豪商稲葉本家」内蔵を活用し展示・公開を行う 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 企画展示2回、講演会2回 開催して稲葉家資料の展示公開につとめる。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 稲葉家資料の適切な保管をはかるため、「豪商稲葉本家」内蔵の一つを収蔵庫として用いることができるように、木製棚を設置する工事を行った。また、内蔵を用いて、年間を通じた展示を実施し、市民および市外からの来訪者に対して資料の公開を行い、あわせて展示解説リーフレット「結城素明と稲葉家」「稲葉東・喬」を作成した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 企画展示・コーナー展示を年間4回開催し、調査した稲葉家資料の一般への公開を行った。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	7	141	国庫支出金		
	11	140	府支出金		
	15	297	起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		578
事業費合計		578	合計		578

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">21年度は講演会を開催できなかったが、企画・コーナー展示を4回開催し、市民および市外からの来訪者に対して資料の公開を行うことができた。また展示解説リーフレットを2冊作成できた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	21年度は講演会を開催できなかったが、企画・コーナー展示を4回開催し、市民および市外からの来訪者に対して資料の公開を行うことができた。また展示解説リーフレットを2冊作成できた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	21年度は講演会を開催できなかったが、企画・コーナー展示を4回開催し、市民および市外からの来訪者に対して資料の公開を行うことができた。また展示解説リーフレットを2冊作成できた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">展示については、職員による手作りのもので実施しており、経費削減の余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	展示については、職員による手作りのもので実施しており、経費削減の余地はなかった。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	展示については、職員による手作りのもので実施しており、経費削減の余地はなかった。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">適切な資料管理と公開を行う必要があり、現状維持で進めたい。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	適切な資料管理と公開を行う必要があり、現状維持で進めたい。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由	適切な資料管理と公開を行う必要があり、現状維持で進めたい。			
B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">木製棚設置工事が終了したため、展示経費のみを計上しており、現状維持で進めたい。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	木製棚設置工事が終了したため、展示経費のみを計上しており、現状維持で進めたい。	B 現状維持
A 事業拡大	理由	木製棚設置工事が終了したため、展示経費のみを計上しており、現状維持で進めたい。			
B 現状維持					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

文化 13

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	06	50	01
	細事業名	文化財保護一般経費				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	文化財保護課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ⑤ 歴史文化遺産の保全と活用 施策方針 3 文化財の保存と活用
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	文化財の保護と活用を促進するため、関連施設である保管施設の維持管理、各種の文化財関係団体の活動を促進する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 文化財保管施設等の維持管理。民俗資料は昔の生活を伝える貴重な資料であり、学校教育の現場では特に重要である。この民俗資料の展示保管施設の維持管理により、貴重な民俗資料の保全活用を図る。

DO	
平成21年度事業の実績 (何を対象に、何をしたか)	文化財の保護と活用を促進するため、文化財関係団体の活動補助金や負担金の交付や、文化財施設の維持管理の必要経費を支出した。
平成21年度事業の効果 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	峰山伝統芸能振興会補助金 49千円 全国鳴砂ネットワーク負担金 20千円 史跡整備市町村協議会負担金 50千円

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	9	9	国庫支出金		
	11	150	府支出金		
	12	106	起債		
	13	201	分担金・負担金		
	19	120	その他		
			一般財源		586
事業費合計		586	合計		586

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設の応急的な修繕のみである。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	施設の応急的な修繕のみである。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	施設の応急的な修繕のみである。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">文化財保管施設は、老朽化した施設が多く、緊急度の高い修繕を実施しただけであり、施設の抜本的な改修が必要である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	文化財保管施設は、老朽化した施設が多く、緊急度の高い修繕を実施しただけであり、施設の抜本的な改修が必要である。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	文化財保管施設は、老朽化した施設が多く、緊急度の高い修繕を実施しただけであり、施設の抜本的な改修が必要である。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要 (何を対象に、何をするか)					
平成22年度事業の効果目標 (平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)					
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">民俗、考古資料は量が多く、各施設に分散して保管している。民俗資料については、各施設で整理して展示保管しており、学校教育の授業で見学や資料の貸し出し等で活用されている。この保管施設の老朽化が著しく、文化財の保全、活用の観点から施設の修繕が必要である。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	民俗、考古資料は量が多く、各施設に分散して保管している。民俗資料については、各施設で整理して展示保管しており、学校教育の授業で見学や資料の貸し出し等で活用されている。この保管施設の老朽化が著しく、文化財の保全、活用の観点から施設の修繕が必要である。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由	民俗、考古資料は量が多く、各施設に分散して保管している。民俗資料については、各施設で整理して展示保管しており、学校教育の授業で見学や資料の貸し出し等で活用されている。この保管施設の老朽化が著しく、文化財の保全、活用の観点から施設の修繕が必要である。			
B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">貴重な文化財の保存と活用の観点から、現在の民俗資料の展示保管施設の修繕が必要である。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	貴重な文化財の保存と活用の観点から、現在の民俗資料の展示保管施設の修繕が必要である。	B 現状維持
A 事業拡大	理由	貴重な文化財の保存と活用の観点から、現在の民俗資料の展示保管施設の修繕が必要である。			
B 現状維持					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

文化 8

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	06	04	01
	細事業名	市史編さん事業				

担当部局	教育委員会
担当課等	文化財保護課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ⑤ 歴史文化遺産の保全と活用 施策方針 4 市史編さんの取り組み
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	合併をして広大な面積を持つ本市において、市としての一体性を高めるために事業を開始することになった。これまでの自治体史では、歴史的な記述が中心になっているが、豊かな自然環境を持つ本市において、そういった面も強調できる内容にしたいと考えている。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 本文編2冊と資料編12冊の刊行する。

DO	
平成21年度事業の実績 (何を対象に、何をしたか)	住民一般を対象に、京丹後市史資料編『京丹後市の考古資料』(21線越事業)、『峯山藩関係史料集』を刊行した。3/22には『京丹後市の考古資料』刊行を記念して、編さんに携わった先生方をお招きしてシンポジウムを開催し約150名の参加者を得た。また、完成した書籍を市民局、地域公民館等で販売し、市内外の図書館等にも配布し活用されている。その他、各専門部の調査を実施した。
平成21年度事業の効果 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	資料編の刊行『京丹後市の考古資料』900冊、『峯山藩関係史料集』500冊 平成26年度までに本文編 2巻、資料編12巻刊行予定

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	1	2,538	国庫支出金		
	4	217	府支出金		
	8	925	起債		
	9	1,276	分担金・負担金		
	11	1,408	その他		
	12	50			
	13	650			
	14	437	一般財源		7,501
事業費合計		7,501	合計		7,501

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">『京丹後市の考古資料』の刊行が少し遅れたものの、『峯山藩刊行史料集』の刊行は予定通り行ない、以降の書目についても刊行に向けて調査を行なっているから。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	『京丹後市の考古資料』の刊行が少し遅れたものの、『峯山藩刊行史料集』の刊行は予定通り行ない、以降の書目についても刊行に向けて調査を行なっているから。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	『京丹後市の考古資料』の刊行が少し遅れたものの、『峯山藩刊行史料集』の刊行は予定通り行ない、以降の書目についても刊行に向けて調査を行なっているから。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">刊行物の出版に際しては入札を行い、請負減が出たが、その他は削減の余地はなかった。調査を大学の授業の一環で行なうことにより、調査費の削減を検討することも必要。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	刊行物の出版に際しては入札を行い、請負減が出たが、その他は削減の余地はなかった。調査を大学の授業の一環で行なうことにより、調査費の削減を検討することも必要。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	刊行物の出版に際しては入札を行い、請負減が出たが、その他は削減の余地はなかった。調査を大学の授業の一環で行なうことにより、調査費の削減を検討することも必要。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要 (何を対象に、何をするか)					
平成22年度事業の効果目標 (平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)					
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">当初の計画通りの刊行を行うため、現状のまま事業を継続する。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	当初の計画通りの刊行を行うため、現状のまま事業を継続する。	B	B 内容の見直し	C
A	A 現状維持	理由	当初の計画通りの刊行を行うため、現状のまま事業を継続する。					
B	B 内容の見直し							
C	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">当初の計画通りの刊行を行うため、現状のまま事業を継続する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	当初の計画通りの刊行を行うため、現状のまま事業を継続する。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	当初の計画通りの刊行を行うため、現状のまま事業を継続する。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							